



Southern Cross

くるす さざん

vol.25

KINAN HOSPITAL  
OFFICIAL INFORMATION PAPER  
November 1st. 2012

## “白内障手術センター”について

紀南病院では年間1000件程度の白内障手術を行っていますがこれまで基本的に入院で手術を行ってきました。

その理由は①都市部と比較し高齢の患者様が多く短時間の手術とはいえ体調の変化に注意する必要があるため、②高血圧や糖尿病などの全身疾患を持った患者様が多く、手術中のみならず手術後に血圧や血糖が異常に変化し大きな問題につながるケースもありそれに対応するため、③白内障手術でも約2000人に1人が眼内に細菌などが混入し最悪の場合は失明に至る眼内炎という合併症を起こすとされておりほとんどが手術中・手術直後に細菌が混入するものでありその期間を細菌の多い外気にあたらず清潔な病院内で過ごし抗生剤の点眼を患者様・御家族様にお任せするのではなく、一番大切な期間はやはり看護師の手で確実にこなすことが重要であると考えるためといったことが挙げられます。

ただ大阪など大都市を中心に比較的若く高血圧・糖尿病などの持病がない患者様に限りとの基準のもと、日帰り白内障手術が行なわれることが多くなってきましたが上述の条件がつく理由はやはり眼科医だけでは全身的な問題が発生した場合に対応できないからです。

近年、紀南病院でも日帰り白内障手術をとの要望が多く寄せられてきたため実施の方向で検討を進めておりましたが、やはり上述の理由から厳格な日帰り白内障手術の基準を満たす患者様は少なく、実施に向けては危険性の高い患者様でも手術を安全に行なえる入院手術と分け隔てなく可能な限り同じ条件とする必要があり今回、これまで実績のある入院白内障部門と新たな日帰り白内障手術部門と統括し管理する白内障手術センターを立ち上げました。



眼科部長  
林 秀介

実際にはこれまでと大きな変更点のない入院白内障手術もセンターで一括し病棟管理を行なうことにより入院期間のバリエーションが増え、最短で両眼3泊4日、片眼1泊2日で手術を行い、また希望により長めの入院ももちろん可能、日帰り白内障手術に関しては最も懸念される全身管理に関しては持病の悪化など問題が生じた場合には可能な限り速やかに院内の内科・外科を含めた全身状態に対応可能な科の医師が対応することをセンター立ち上げに伴い確認、眼科的な管理に関しては日帰り白内障手術の実績があり紀南病院・眼科の所属する大阪大学・眼科で行なわれている内容と同内容とし、既に昨年度から大阪大学で使用されている最新の白内障手術装置と同じ機種を導入し手術を開始していますがセンター立ち上げからは使用薬剤など細かい点も徐々に完全に同じ内容へと移行し大阪大学で行なわれている手術・管理が紀南地方でも受けられるようにしていく予定です。また帰宅後の術後状態の急変などに対しては、365日24時間の当直体制をとり、センターに電話連絡すれば休日・夜間でも眼科医の診察を受けることができるシステムとなっています。

“安全かつ安心に”が白内障手術に関する当院の合言葉ですが、目に関してのみ“安全かつ安心に”ではなく目は体の一部ですのでより進んで持病を含め体すべてに、更には患者様のことを心配される御家族様にまで“安全かつ安心に”を実現するため眼科内だけでなく医師・看護師・事務員などすべての職員に協力を仰ぎ白内障センターの立ち上げに漕ぎ着けました。現時点ですべての面で最も安全に手術が受けられる施設になったものと考えておりますが当センターはこれで完全に形が定まったわけではなくこれに満足することなくセンター運

### 白内障手術センター設置

田辺の紀南病院



外来にも対応

営開始後も繰り返し、検証しより良いものになっていきますよう紀南病院全職員のみならず患者様をはじめとする紀南地域の皆様とともに成長し形作っていききたいと思います。



10月1日に紀伊民報に掲載された

# こころの医療センターだより

## 地域医療福祉連携室が新設

平成24年9月1日より、紀南こころの医療センター2階に、地域医療福祉連携室が新しく設置されました。

紀南こころの医療センター糸川副院長が室長を兼任し、精神保健福祉士2名、看護師1名、事務員1名の計5名で構成されています。

当室の主な役割は、医師の業務負担を軽減するための入院患者の退院調整となっておりますが、従来通り医療や福祉に関する相談業務も行なっております。また、紀南病院や他医療機関からの紹介患者の外来予約や、当センターから他医療機関への外来受診時の予約を行なっております。

紀南地方においては、精神科医療機関の連携室は他になく、精神科の独特性もあり、ご要望に迅速にお応えすることができないこともあるかと思えます。業務を開始したばかりということもあり、ほとんどのことについて手探り状態で業務を進めております。何かとご迷惑をおかけすることと思えますが、今後ともよろしくお願い致します。



地域医療福祉連携室の連絡先

電話:0739-25-6848(直通)

FAX:0739-25-6848

内線番号:59

スタッフ紹介

精神保健福祉士	柳田	利典、和田	光弘
看護師長	釣本	一江	
事務員	福山	ゆみ	

## こころの医療センター訪問看護

H23年4月から、地域医療部がデイケアと訪問看護へと独立しました。

そこで、私達訪問看護は旧6病棟の詰所を使い、新たな出発となりました。現在、訪問利用者は、153名(10/1現在)と入院患者を上回る人数となっています。

H16年9月に精神保健福祉施策の改革ビジョンが決定し、「入院医療から地域生活中心へ」の基本理念が示され、H21年9月に取りまとめられた報告書に於いても、基本理念をさらに推進することが基本とされています。



このような施策が進められている中で、当院の訪問利用者も、この3年半ほどの間に50名ほど増加しています。病名は、統合失調症が90%近くを占め、その他は感情障害や認知症などとなっています。訪問先は、自宅やグループホーム・作業所、遠方は本宮や龍神・すさみ・印南と3台の軽自動車はフル回転。訪問看護スタッフは6名のため、病棟からの応援をもらいながらの毎日です。

9月からは、土曜日の訪問も開始しました。

精神に障害を持ちながら地域で生活している方々が、安心して日常生活を送ることができるよう、福祉とも連携しながらスタッフ一同頑張っております。

## 地域医療連携だより

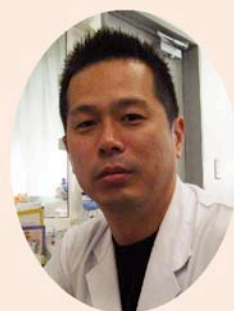
いつもお世話になっております。

真寿苑クリニックの森貴信と申します。簡単ではございますが、自己紹介も交え、日常の診療生活を書いてみたいと思います。

私の実家は田辺市です。

この地を離れ、20数年前ぶりに帰郷し、程なく田辺市神島台で開業しました。

出身大学は関西ではあまり馴染みのない昭和大学です。



真寿苑クリニック  
森 貴信



卒後そのまま同大学病院の第1外科(心臓血管外科)に入局し、急性期の研修を約10年程積みました。その後、特別養護老人ホーム真寿園に併設するクリニックを開業することもあり、内科、リハビリ科の研修を3年ほど積んで帰ってきました。

おかげで、急性期から慢性期まである程度カバーできたかなと思っています。

しかし特養は非常に特殊な形態で、医療というよりは介護が主体となっております。介護が主体といえど、もちろん医療が必要な入所者さんもいて、夜間など緊急性が高い場合は、いつも紀南病院のお世話になっています。

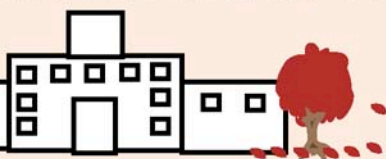
また、当クリニックでは、在宅医療、ターミナルケアなどの往診にも積極的に取り組んでおり、医療と介護の融合を目指して、地域医療に貢献できる様日々努力しております。

そんな日々の中で、予期せぬ事態に遭遇する事が多々あります。その時には救命救急科や、医療連携室の方々と密に連絡を取り、患者様をスムーズに搬送し、受け入れていただけるように努めていきたいと思っています。

これからもご迷惑おかけすることもあると思いますが、連携ご協力よろしくお願い致します。



## 学校だより



看護学校では、9月21日(金)に防災訓練をしました。地震や津波を想定し、より高いところへ避難するため、学校前の坂を登り高台のマンションの中庭へ避難しました。その後、水消火器の訓練を実施、田辺消防署員の方から、「地震のそなえ」についてDVDとお話を交えて講演をしていただきました。地震でも火事でもその時あわてないように、常に備えが必要だと具体的な内容で教えていただきました。

10月19日(金)1学年29名の宣誓式がありました。入学後半年が経過し白衣を着用し病院の基礎実習へ行く前に、「看護師を目指すものとして専門職業人の自覚を認識する」を目的としています。宣誓式では、ナイチンゲールの看護の心とその教えを灯にし、その灯を受け取る事で、その意思を受け継ぐ事を表し、少しずつ灯がともってゆく様は幻想的で、また学生同士の横のつながりと一体感を感じました。さらに学生各自がどんな看護師を目指すのか、一人ずつ参加者の前で宣誓しました。



1学年の基礎実習は、12月5日・6日、1月16日～1月22日です。  
今後の学校行事、入学試験の予定

11月22日・23日学校祭

11月16日推薦入試

12月22日～1月6日まで冬期休暇となります。

# 病院のまど

## 第39回市民健康講座について

眼球の中には水晶体というものがあり、ちょうどカメラのレンズと同じ働きをしています。この水晶体がにごってしまうのが白内障です。

白内障の治療法としての手術は著しく進歩し、かなり安全性が高く、患者さんの負担も少なくなってきました。

日時 平成25年1月20日(日)

午後2:00~3:00

演題 白内障治療について(仮題)

演者 紀南病院眼科医局

会場 紀南病院 3階講堂

## 編集後記

カメラはまだフィルムが一般的であった10年程前の事です。

ちょうど紅葉の時期、カメラを持って日高川町の山中をあてずっぽうに走り回っておりました。

そこで、日光が遮られる程のてんとう虫の大群に遭遇(車で突入?)した事がありました。もう辺り一面てんとう虫。地面からはるか上空までてんとう虫。圧巻でした。

車を停めて、フロントガラス越しに自然の雄大さに感動した後、舞い上がってドアを開けてしまった愚か者。開けたが最後、ほんの数秒で車内もカメラも体にもおびただしい数のてんとう虫が!車の中に閉じ込められた奴らは怒って悪臭を!まさに這々の体でその場から逃げ出しました。

しかし、紅葉を撮りがてら、毎年の様と同じ場所を目指して出掛けるのですが、(てんとう虫の群れはともかく)同じ場所にすら辿り着けないのが不思議です。今年もチャレンジしよう。ナビがあれば行けるのかな…。

N 記



## daikoku 株式会社 大黒

本社: 〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	: 〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	: 〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	: 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	: 〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	: 〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	: 〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	: 〒630-8115 奈良市大宮町 4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	: 〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	: 〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	: 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	: 〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。



## SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本社  
〒640-8267 和歌山県和歌山市手平3-8-43  
TEL: 073-435-2333 FAX: 073-435-2223

■大阪支店  
〒595-0012 泉大津市北畠中町2丁目5番28号  
TEL: 0725-31-3610 FAX: 0725-31-3619

■医大前営業分室  
〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13  
TEL: 073-448-3787 FAX: 073-448-3781

■田辺営業所  
〒648-0011 田辺市新庄町2744番地  
TEL: 0739-25-4535 FAX: 0739-25-4578

■新宮営業所  
〒647-0072 新宮市橋本2番22号  
TEL: 0735-31-9130 FAX: 0735-31-9133

■奈良営業所  
〒832-0082 天理市荒崎町56番地の4  
TEL: 0743-64-3807 FAX: 0743-64-4810